

米軍ヘリ炎上事故

許せない！基地 あるがゆえの犠牲



沖縄県東村高江の住宅地から数百メートルの牧草地に米軍ヘリが炎上・墜落。昨年12月にはオスプレイが名護市沖で墜落。「いつまで苦しめられるのか。米軍にはもう出て行ってもららうしかない」——あいつぐ米軍機事故に、県民の怒りは頂点にたっしています。

「ヘリパッド使用禁止」「基地なくそう」と声をあげる緊急抗議集会の参加者
=10月15日、沖縄県東村高江の米軍北部訓練場メインゲート前

ノーベル平和賞のICAN（核兵器廃絶国際キャンペーン）

「核兵器禁止条約に 日本はサインを」

今年のノーベル平和賞は、世界100カ国以上の反核平和運動が参加するICANが受賞。核兵器禁止条約への署名・批准が各国ですすむなど、いま世界は、「核のない世界」へと大きく動きだしています。

ICANは受賞後の記者会見で、条約への参加を拒む日本政府の姿勢を「被爆者への裏切りだ」ときびしく批判し、署名・批准するようにもとめました。

核兵器禁止条約の採択を受けて記者会見に臨む、広島で被爆したサローノ子さん（手前）、（奥右から）ICAN事務局長のペアトリス・フィンさん、日本原水爆被害者団体協議会事務局次長の藤森俊希さん＝7月7日、ニューヨークの国連本部

